

「コミュニティづくりフォーラム・なら」開催される

1月31日、「コミュニティづくりフォーラム・なら」（奈良県主催）が橿原文化会館小ホールで開催された。名古屋大学大学院環境学研究科の黒田由彦助教授が「新しい地域コミュニティの形成」と題して講演、約300名が聴講した。

黒田氏は「成熟社会に入った現在では、人々の価値観・人生観の多様化や少子高齢化など社会情勢が大きく変化している。行政、企業を中核としたこれまでの経済社会システムも、このような複雑・多様化する今日の社会的課題に的確に対応することが困難になってきている。

一方で、地域の様々な問題に取り組むボランティアやNPOが新たな経済社会の担い手となりつつある。

地域住民の実態や多様な要望を熟知しているボランティアやNPOが、行政、企業と共に作業する『協働』の成果をあげていくことが、より良いコミュニティを作っていく基礎となる。」と提言された。

パネリストの一人、橿原市の白檀町連合自治会事務局長の中井靖教さんは「住民間の意思疎通を活発にするには、〔花いっぱい運動〕や〔地域運動会〕などのイベントの開催を活用すること」と話された。（上田）



名古屋大学大学院 黒田由彦助教諭